作成日：2026 年　08 月　03 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

コルポスコピーの診断および教育の質向上を目的とした診療情報の後方視的検討

１．研究の対象および研究対象期間

2024 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日までに昭和医科大学病院産婦人科において、子宮頸部病変の精密検査としてコルポスコピーおよび子宮頸部組織診を受けた患者さんを対象とします。

２．研究目的・方法

コルポスコピーは、子宮頸部を拡大して観察し、病変の有無や広がりを評価する検査です。診断には専門的な知識と経験が必要であり、診断精度の向上には継続的な教育が重要と考えられています。

本研究では、通常診療で実施されたコルポスコピーの所見と、その後の組織診断結果などの診療情報を用いて、コルポスコピーの診断精度や診断に影響する要因を解析するとともに、教育方法の有効性を検討します。また、本研究で得られた知見を活用し、コルポスコピーの教育プログラムの改善や、診断支援技術（人工知能を用いた診断支援を含む）の開発・評価に役立てることを目的としています。

研究にあたり、新たな検査や治療をお願いすることはありません。通常診療で得られた診療情報のみを用いて解析を行い、患者さんの診療に影響を及ぼすことはありません。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会の承認後、研究実施機関の長の許可を得た日から 2030 年 12 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、診療録から以下の情報を使用します。

年齢、閉経状況、HPV ワクチン接種状況、子宮頸がん検診結果（細胞診およびヒトパピローマウイルス検査）、コルポスコピーの画像・所見、子宮頸部組織診断結果、円錐切除術または手術を受けた場合の病理診断結果、検査日および診断日。なお、本研究では新たな試料の採取は行いません。

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

６．研究組織

研究責任者　　昭和医科大学　産婦人科学講座　　出嶋弥広

研究分担者　　昭和医科大学　産婦人科学講座　　三村貴志

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院　　氏名：出嶋弥広

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学 6 号館 1 階 産婦人科

電話番号：03-3784-8551／FAX: 03 (3784) 8355／e-mail: ob-gyn@med.showa-u.ac.jp